

## まちづくりの将来指標

将来像を実現していくための指標として、目標年次における将来の人口の目標値と市民の幸福の度合いを指標化したみらい指標を設定しました。

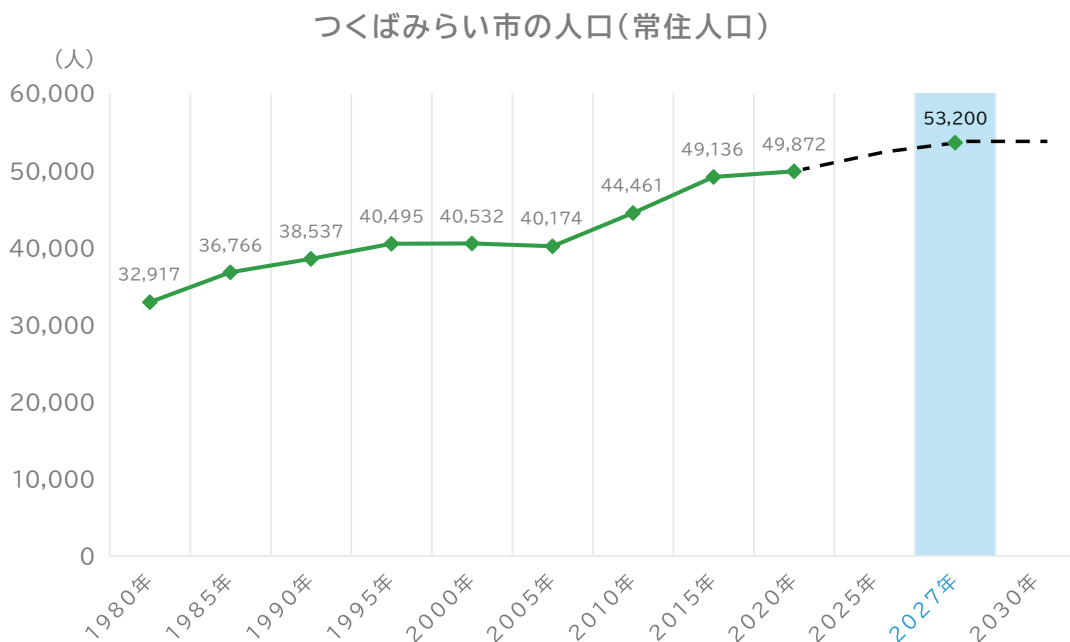
## 1 まちづくりの規模（人口指標）

日本の人口は、出生率\*の低下を背景として、2008年（平成20年）以降減少傾向にあり、今後も減少が進むと見込まれています。そのような中、本市においては、2005年（平成17年）にみらい平のまち開きが行われて以降、住宅開発などによって人口は大きく増加しています。2020年（令和2年）には49,872人となるなど、2005年（平成17年）以降の15年間で見ても約20%増となる10,000人近い人口増加を示しています。

今後も、人口増加の好循環を更に質の高いものとしながら、時代にふさわしいまちの姿を見定め、まちづくりの大きなエネルギーを継続的に生み出していくことが重要です。

そして、市民生活の利便性の向上や就業の場の創出を図りながら、本総合計画の最終年度である2027年（令和9年）には人口53,200人を目指して、まちづくりのデザインに基づく施策を展開してまいります。

## 2027年における人口の目標値：53,200人



出典：国勢調査